

## 工学研究科

### 三つのポリシー

---

#### ❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

修士課程・博士課程前期は、将来、企業等で研究・開発に携わる目標を持っている人、あるいは大学等の研究者を志向する人を対象とする教育を目指す。入学については各専門分野で必要な基礎学力と勉学の意欲を筆記試験および面接試験で判定する。学部の成績優秀者に対しては推薦入試制度、特に優秀な学生については飛び級入試制度を持つ。推薦入試は面接試験で行う。博士課程後期は大学等の研究機関や企業の研究活動を主体的に支え、社会の学術の発展に貢献する事を目指す人を対象とする。博士課程後期への入学は筆記試験および面接試験により判定する

#### ❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

修士課程・博士課程前期では、先端的かつ高度な専門技術と基礎知識、総合的視野を獲得させる事を目標にカリキュラムを構成している。比較的少人数に対する集中教育、教師との密な接触による全人的教育を目指す。また、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の涵養を重視している。

博士課程後期では、研究者として当該専門領域の学界に認知されるレベルの学位論文執筆指導を行う。

#### ❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

修士課程・博士課程前期では企業等で開発者、開発・研究者としてスタートできるだけの基礎知識、専門技術、視野を獲得しているか否かを修士論文の内容と単位取得状況によって判断し、合格者に学位を授与する。博士課程後期では、先端技術分野での高度な専門知識を身に付け、国際的な視野と独創性をもって自立した研究を遂行できる能力を有することを基準として、当該分野での論文発表状況を勘案し、博士論文の内容、発表能力を評価し学位を授与する。

